

第18回議会運営委員会会議記録

開閉会 日時	令和7年12月19日（金曜）		午前10時05分 開会
	休憩		
			午前10時26分 閉会
会議場所	3階委員会室		
出席委員 氏名	委員長 渡辺洋一郎 副委員長 菊池 秀明 委員 木村 淳彦 委員 堀切 忠	委員 立川 美穂 委員 鈴木 健充	
欠席委員 氏名	委員 中田智恵子		議長 梶澤 幸治
説明等に 出席した 者の氏名			
事務局職員	事務局長 安田 敦史	総務係長 竹川 恭史	総務係主査 大石真澄

1 開会

- ・委員長が開会を告げ、中田智恵子委員の欠席を報告し、事務局から本日の委員会の日程を説明する。

2 議件

(1) 協議事項

- ア 白樺高校（1学年）との包括連携協定事業実施要領案について
- イ 令和8年度議員研修計画案について

資料1

資料2

(2) 調査事項

- ア 議員定数と報酬の見直しについて（答申案）
- イ 例規等の改正について

当日資料3

資料4

3 その他

(2) 次回委員会の開催日程（予定）について

令和7年 月 日（曜） 時 分

(3) その他

2 議件

(1) 協議事項

- ア 白樺高校（1学年）との包括連携協定事業実施要領案について

資料1

- ・菊池副委員長：この件については、第3回全員協議会（7月1日開催）において、今年度の事業概要を既に共有したものであり、本日は先方との協議により日程等が確定したので改めて協議したい（資料説明「1：目的」から「7：その他」）。な

お、詳細は年明けの先方とのやり取りを踏まえて、改めて共有したい。

- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・鈴木委員：「5：実施内容」について、シナリオは昨年同様か？新たなものか？
- ・委員長：現時点における先方との打ち合わせでは、昨年とほぼ同様のシナリオと聞いている。昨年の議会の振り返りとして、シナリオの内容を変更すべきという意見もあったが、先方の意向も尊重すべきことから、事情を御理解いただきたい。
- ・木村委員：出席者は各常任委員会の委員全員か？
- ・委員長：クラス別の生徒数を鑑みて、最低5人の出席を願いたい。詳細は各委員会に委ねたい。
- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長：説明のとおり事業概要を決定することに異議ないか？
- ・(異議なし)
- ・委員長：決定とする。以上で、協議事項「ア」を終了する。

イ 令和8年度議員研修計画案について

資料2

- ・事務局長：資料説明。
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長：説明のとおり計画を決定することに異議ないか？
- ・(異議なし)
- ・委員長：決定とする。以上で、協議事項「イ」を終了する。

(2) 調査事項

ア 議員定数と報酬の見直しについて（答申案）

当日資料3

- ・菊池副委員長：3日前の第14回全員協議会（12月16日開催）の結果を踏まえて、議運正副として最終的な「答申書案」の体裁で整理したので協議願いたい。1ページから3ページは答申書本文となる。3ページを説明する。このページが議長からの諮問事項に対する答申事項となる。「1：定数」は「16人」。「2：報酬」は「区分」を「議員」「議長」「副議長」「委員長」の4区分。「月額報酬」は「議員：300,000円」「議長：450,000円」「副議長：384,000円」「委員長：356,000円」とし、「期末手当」は「4.6か月分を11月及び5月に各2.3か月分支給」とした。なお、役職区分別の報酬は表に整理した。次に4ページから8ページは、ただいま説明した「新たな定数と報酬」の「数」及び「金額」を論理的に項目で整理した根拠である。9ページを御覧いただきたい。今回、新たに作成した資料であり「報酬の積算資料」となる。「1：算定の手順」を基に「年額」及び「月額・期末手当」を全国町村議会議長会提言の算式で算出したものである。なお、最後の10ページは「議員報酬新旧比較表」として、役職区分ごとと全体の影響額（差引額）を一覧にまとめたものである。

前回の全協では、特に報酬シミュレーションについて、全議員の見解が一致していなかったと捉えているが、議運正副としては、これまでの経過として、2度

にわたる町民との意見交換会、議会サポーターからの助言・示唆、議員研修による講師からの教示等を踏まえ、かつ、報酬算定の根拠が明確であること、今後の見直しにおいても継承できる先例として説得性が高いことから、「役職別に活動実績を基礎とした算定式」による報酬額を答申したいと判断したところである。説明は以上である。

- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：説明のとおり議運として、答申書案を決定することに異議ないか？
- ・（異議なし）
- ・委員長：決定する。昨年10月からスタートし、今日まで1年以上をかけて調査・研究、協議・検討を重ねてきた「議員定数と報酬の見直し」について、ただいま議運として答申書案を決定した。これまでの委員の皆様の御精励に感謝したい。なお、この議運案は、週明け12月22日開催の全員協議会で協議する予定である。この結果を踏まえての予定となるが、改めて議運に持ち帰り、検討を要する必要がなければ、全協の後に開催する議会運営委員会の場で答申書の決定を公式に行い、議長に答申する予定であることを申し添える。以上で、調査事項「ア」を終了する。

イ 例規等の改正について 資料4

- ・総務係長：資料説明（「1：1月施行予定の規程について」「2：4月施行予定の条例について（3月定例会議）」）。
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：説明のとおり決定することに異議ないか？
- ・（異議なし）
- ・委員長：決定とする。以上で、調査事項「イ」を終了する。

3 その他

（1）次回の委員会開催日程について

令和7年12月22日（月）厚生文教常任委員会終了後

（2）その他

- ・委員長：「その他」で各委員からないか？
- ・（なし）
- ・委員長：議長からないか？
- ・（なし）
- ・事務局からないか？
- ・（なし）
- ・委員長：以上で終了する。

以上をもって議会運営委員会を閉会する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	2名	議員	0名	合計	0名
------	-----	----	-------	----	----	----	----	----